

進む2020オリンピック施設建設、不安抱えて豊洲新市場オープン？ 無駄な大規模開発はないか・・・

臨海部見学 バスツアー

いま東京臨海部は、晴海選手村など2020オリンピック競技会場整備や豊洲新市場問題を巡って世論の関心を集めています。しかしオリ・パラ開催まであと2年、新市場開業まで3ヶ月に迫った今も問題は山積しています。またこれらの問題に目を奪われがちですが、不要・不急の大型クルーズ客船バースや大規模コンテナふ頭、臨海道路南北線などの建設計画も推進されています。

そこで臨海地域をつぶさに見学し、何が問題なのかを一緒に考えて頂くために、下記の通り開発現地見学バスツアーを企画しました。是非ご参加ください。

- ◆日 時 7月29日(日) ※雨天決行
午前9時受付開始 同9時30分出発
午後4時半ごろ解散予定
- ◆集合場所 東京メトロ有楽町線「豊洲駅」7番出口地上
(目印は青い「臨海都民連」の幟旗)
- ◆参加費 2,500円(バス代、資料代)
(昼食は各自負担、お台場の飲食店で)
- ◆募集人員 先着45名様
- ◆主な見学場所(予定) ⇒晴海オリンピック選手村建設現場⇒豊洲新市場⇒お台場トライアスロン会場⇒青海大型クルーズ客船ふ頭建設現場⇒海の森カヌー競技場⇒中防外大規模コンテナふ頭⇒東京港ゲートブリッジ⇒夢の島公園アーチェリー競技場等⇒辰巳水泳競技場(アクアティクスセンター)⇒豊洲駅
- ◆申し込み 市川隆夫 (携)090-1853-5505 (臨海都民連)
萩原純一 (携)080-6670-3336 (オリ・パラ都民の会)

主催：臨海部開発問題を考える都民連絡会

2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会